

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	理学療法士によるリハビリ勉強会を行ったが、教えていただいた体操が、毎日の運動として取り入れられていない。	利用者の歩行能力の維持と、転倒予防につなげる足の体操を毎日行う。	日課のラジオリハビリ体操の後、理学療法士から学んだ足の運動を取り入れる。	6ヶ月
2	18	食事の献立は、全て職員が決めてしまっている。	1週間に1回、利用者と職員と一緒に、献立を考える。	料理本等を使用し、利用者が難しく考えなくてもよいようにする。また、一人の利用者だけに偏る事の無いよう、一覧表を作成し、誰と考えた献立かわかるようにする。	6ヶ月
3	41	食事水分摂取量にムラがある利用者がある。	無理なく常に2/3以上摂取できるようになる。	食形態(おかゆ、刻み)などの調理工夫や声掛けで摂取できるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。